

社団法人全国有料老人ホーム協会 正会員  
特定施設事業者連絡協議会 会員

介護付有料老人ホーム  
ベターライフ・ノア21

もりのたより

◆◆◆◆◆ 季刊 2011年夏号 ◆◆◆◆◆

トピックス

- ホットライン
  - アクティビティ
  - 非常災害対策
  - MESSAGE MAN
  - ことだま
- 介護支援専門員について  
季節の花見に行きました  
消火・避難訓練の実施  
セルフカウンセリングのお話  
スタッフのリレーコラム



安心をカタチに、生きがいデザインする  
**ASO GROUP**  
WE DELIVER THE BEST



安心・安全・快適をお届けする

**麻生メディカルサービス株式会社**

## 介護支援専門員(ケアマネジャー)の役割

生活相談員・ケアマネジャー 安田幸子

2000年4月から介護保険がスタートして11年が経ちました。

介護保険は65歳以上の方の第1号被保険者と45歳以上65歳未満の第2号被保険者の方が対象となる社会保険方式です。

介護保険を利用するためには、まず保険者である市町村などに申請を行います。その後、訪問調査等が行われ自立・要支援・要介護の判定が出ます。

要支援や要介護認定を受けた方に対して、ご本人やご家族から健康状態や生活上の問題点を聞き取り、介護サービス計画(ケアプラン)作りを担うのが、介護支援専門員(通称ケアマネジャー)です。

ケアマネジャーになるための受験資格は、介護福祉士や看護師、医師・社会福祉士のほか、理学療法士やあんまマッサージ指圧師、針灸師など法的な資格を持ち、5年以上の実務経験がある者か、相談業務に従事する者で社会福祉主事任用資格などを有する者となります。資格を持たない場合は、所定の福祉施設で介護などの業務に10年以上従事した者となります。

ケアマネジャーの試験は都道府県が年に一度実施する「介護支援専門員実務研修受講試験」に合格し、登録・任用するためには、都道府県の実施する「介護支援専門員実務研修」を受講する必要があります。

また、平成19年度よりケアマネジャーとしての登録は、5年毎に所定の研修を受けて登録を更新する制度が導入されています。

ケアマネジャーの業務は、介護全般に関する相談援助や関係機関との連絡調整を行う事が主な業務となります。援助の流れとしては、まず利用者やご家族がどのような介護サービスを希望するか(インテーク)、どのような介護サービスが必要かを査定(アセスメント)、介護保険が利用できるようにサービス計画、個別支援計画を作成(プランニング)する。

そして、サービスの利用開始後も、提供されている介護サービスが適切かどうかを評価(モニタリング)して、要支援や要介護者の状況に合わせて、再びアセスメントやプランニングを行います。

次号ではノアでの生活相談員とケアマネジャーの具体的な役割や業務について、ご説明したいと思います。

こんな事?! あんな事?! いろいろなご希望やご依頼がございましたら、是非お聞かせ下さい



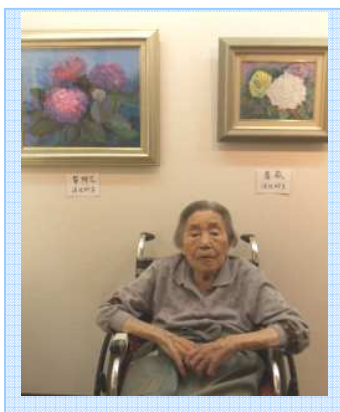
# ☆アクティビティ



4月29日(金)  
田川弁城の定禅寺に  
藤見物にお連れしました  
お天気も良く、藤も見頃でとても良い  
ドライブ日和でした



## ～ドライブ～

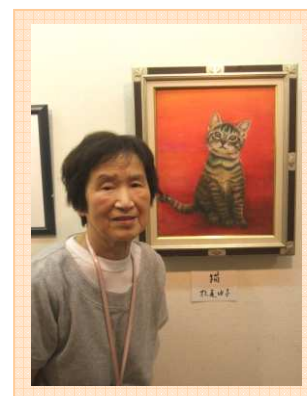


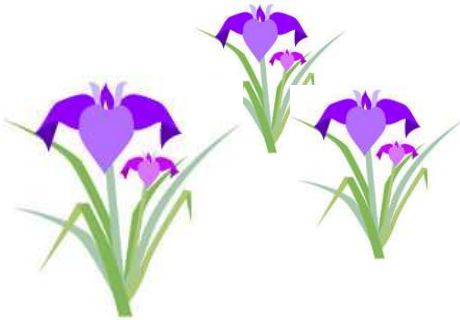
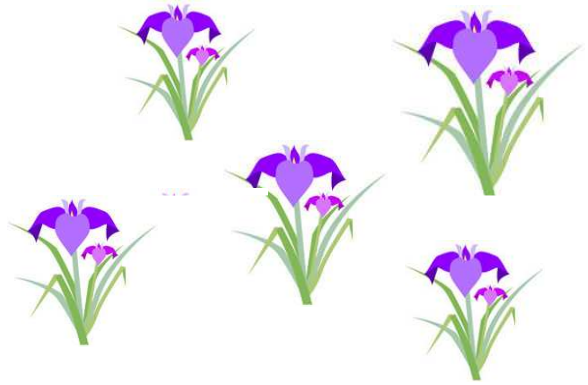
### 飯塚美術協会

### 春季展 2011

去る5月21日、22日  
飯塚本町アーケード内の  
ギャラリーに絵画鑑賞へ  
お連れしました。

今回初めてお連れしましたが、皆様熱心に見入っておられ、大変喜んで頂きました。次回開催時にも是非お連れしたい!と思っております。





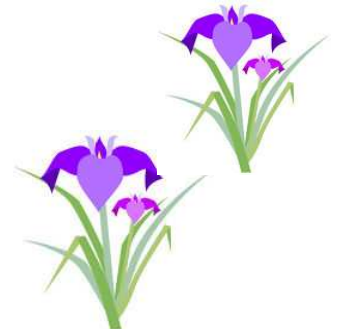
## 菖蒲見物へ Go!



6月9日(木) 大宰府天満宮に菖蒲見物へお連れしました。

お天気が心配でしたが、当日は晴天で絶好のドライブ日和となりました。厨房さんが心を込めて作ってくれたお弁当(下)は開くと「美味しそう～」と声が聞こえ、満開の菖蒲を見ながらの食事は一層美味しいものとなりました。

太宰府天満宮の菖蒲池には花菖蒲40種3万本が開花し、夜間はライトアップされまた、違った趣で観賞できます



# 消火・避難訓練の実施

去る、6月23日（木）に年2回実施している恒例の自衛消防訓練（消火・避難訓練）をおこないました。

訓練は夜間における居室での火災発生を想定した内容で、大切な入居者様を守るために当苑では今後も引き続き訓練をおこないます。

1. 自火報発報（火災ベル）で訓練開始！！  
消火器を持ち、いざ火災現場へ急行！！



2. 火災現場を発見！！「火事だ、火事だ」  
周囲に知らせています



3. 火点から近い居室より避難  
誘導をおこなっています



4. 避難・誘導を終えているか各居室を確認中！！



5. 火点に向けて消火中！！



6. 訓練終了後、講習・放水訓練



ベターライフ・ノア21の事務長をしております安藤隆之と申します。

いつも当苑の広報紙「もりのたより」をご愛読いただき誠にありがとうございます。

本コラムは、私の日常体験である「セルフカウンセリング」のお話をします。

皆様、朝のニューズペーパーは読まれていらっしゃるでしょうか？

読まれている方は何を感じてお読みになられているのでしょうか？



すでにニューズペーパーの記事は過去のものであるから「一切読まないことにしている」という達人もいらっしゃるかもしれませんね・・・

私は、新聞記事や日常生活のなかで漠然と思いをめぐらすことがあります。

それは「不安」という言葉が社会キーワードになってしまっているような気がしてまして・・・この不安を何とかヒトの感情から取り去ることはできないのかと想像することもあります。ただヒトに感情が存在する限り不安がなくなるということはありませんが・・・

皆様も「不安」をお感じになるときがあるでしょうし、私自身も「不安」を感じることは一日のなかでもたくさんあります。

また、イライラする感情は誰もが持ちあわせている感情です。

私も、「思うように事が進まない」とか「子供や家族のこと」などでイライラすることはあります。

ですが「不安」を感じたり「イライラする」感情があっても、人は何とか感情バランスをとりながら日常生活では支障がないようにコントロールしているものです。

ところで、私達は意識下・無意識下を問わず「不安」になったり「イライラ」したりしますがそのことだけを考え続けてはいませんよね。これってなぜでしょう???

私達は常に視覚や聴覚あらゆる機能がフル回転して得た情報(客観的事実)に勝手に感情をのっけていますから、思い悩んでいる時でもいつしか別のことに気がうつったり、新たなことにぶつかり、また別のことを考えていたりしていますよね。

多分、誰でも程度の差はあれ思い当たるフシがあるはずです。

何だか「意識」や「感情」など難しい話になってきましたけど・・・

深掘りしていくと、それこそ「感情のトラップ」にはまってしまいかも(^\_^)

あまり目先だけにとらわれているとゆく先見えずになってしまいそうじゃありませんか。こんなときは、ぜひセルフカウンセリングをおすすめします。色んな方法はありますが、要は「自分でスッキリ」すればいいのです。



私は自己瞑想法で「自分でスッキリ」する方法をとっています。まず、ひとりになれる場所・時間をつくります。この時、身体もリラックスできる姿勢をとることがポイントです。軽く目を閉じて、今の感情にスポットをあててみます・・・リラックスすることでその時々感情が表出てきます・・・例えば落ち込んだ感情や何となくイライラした感情、悲しい気分とか・・・

静かに、ゆっくり想いをめぐらせていると原因因子(出来事・客観的事実)を発見できます。大抵は出来事・客観的事実に自分勝手な想像(感情)を付け足して、それが今の感情となって表れているんですね。

この勝手な想像(感情)が自らを不安定にさせている要因なのです。

そこで自らが「経験した事実」と、自らが勝手に付け足した「感情」に繋がりはないことを瞑想し続けることで自分自身を楽しむ方法をとっています。

この方法も慣れるとそんなに難しくはないですよ。皆様も「自分でスッキリ」する方法を探ってみては如何でしょうか(^ ^)



**MESSAGE MAN へのご意見やご感想  
投稿のご希望をお待ちしております  
事務所へご遠慮なくお申し出ください**

ベターライフ・ノア21で看護職員として勤務している江口初美と申します。  
私は、昨年7月より勤務していますのでもうすぐ1年となります。  
前職で介護施設の勤務経験もありますが、医療現場での外来勤務が長いこともあり、当苑では一から覚えることも多く日々奮闘しています。

さて、日々奮闘している業務より、私が一員として活動している「嚥下・栄養委員会」で探求している「できる限りお口からお食事をとっていただく」ことについてお話します。

嚥下とはひと言でいうならば、「食物の飲み込み」のことですが、この機能はおよそ誰でも歳を重ねるごとに低下していきます。

食べ物が食道を通過せずに気管に入り肺炎を患う「誤嚥性肺炎」は、すべての高齢者施設で起こりえることで嚥下・栄養委員会にとってはその対策を考え続けることはとても大切です。

食物の飲み込みに危険があると判断された場合、胃部に管を挿入して栄養補給する方法や鼻に管を挿入して栄養補給する方法がありますが、少しでもお口から飲み込むことができるなら食事形態からのアプローチで安全面を考えることも大切です。

嚥下・栄養委員会では昨年から取り組んでいた「やわらか食」「ムース食」のご提供ができるようになったことで、会議では可能な限りお口からお食事をとっていただくことができるように話しあっています。

いつまでもお元気で「美味しい」と楽しんでお食事をとっていただけるように今後も頑張っていきたいと思っております。



◇もりのたより◇

ベターライフ・ノア21通信

◇発行◇

ベターライフ・ノア21

〒820-0011 飯塚市柏の森11番地1

TEL 0948-21-0021

FAX 0948-21-0027

<http://www.aso-group.co.jp/noah21/>

E-MAIL: [noah21-p01@aso-group.co.jp](mailto:noah21-p01@aso-group.co.jp)